令和５年度入学式式辞

春風が心地よい季節となり、春爛漫の良き日、本日、ここに、ＰＴＡ会長宮坂　武志様、後援会会長脇田　宣欣様のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに埼玉県立三郷北高等学校　第４４回入学式を挙行できますこと、本校を代表し、厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学許可をいたしました２３８名の新入生の皆さん、本校への入学、誠におめでとうございます。教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

本校は昭和５５年４月１日開校、今年度、開校４４年目を迎えます。１万２千余名にのぼる卒業生は、民間企業をはじめ、教員、市役所職員、警察官、消防士と、あらゆる方面で活躍しています。新入生の皆さんは、先輩たちが作り上げてきた伝統を受け継ぐために、充実した高校３年間を過ごしてください。

さて、本校は、生徒指導に重点を置き、三郷、八潮、吉川、近隣３市１番校としての地位を築いてきました。「青春の夢を実現しよう」というスローガンのもと、勉強と部活動に励んでいます。

「生徒一人一人により高い次元で勉強と部活動を両立させるとともに、学校生活をとおして、自己管理能力を育成する」ことに重点を置き、「自己管理能力の育成」に全力を挙げて取り組んで参ります。

学習面では、「個別最適な学び」ができる環境を整えましたので、いつでも、どこでも学ぶことができます。学力の向上、苦手科目の克服は皆さんのやる気しだいでどのようにでもなります。また、高校は義務教育ではありません。進級・卒業が危ぶまれる生徒には、一定期間、指名補習を実施します。指名補習の対象になると部活動への参加が制限されますので注意してください。

ところで、新入生の皆さん、世界に目を向けてみましょう。ロシアによるウクライナ軍事侵攻が開始され１年が過ぎました。人工知能が戦争の道具として使用され、２１世紀最大の危機に直面しています。人工知能の登場・進歩が皆さんの人生にどのように係わってくるのでしょうか。人間がこれまでと同じ働き方では生き残ることができない時代へと変化しています。４月からデジタルマネーによる賃金支払いの解禁、過疎地域などの特定条件下で、完全自動運転が解禁されましたが、これまで人間が担っていた職業が人工知能に取って代わられると言われています。

このような時代を生きる皆さんに４つのことをお願いします。

１つ目は、三郷北高校生として、「自覚」と「誇り」を持ってください。本校は、近隣３市１番校です。三郷市、八潮市、吉川市にある高校の中で、志願倍率、偏差値において１番上に位置しています。進路実績においては、偏差値がもう少し高い高校と比較しても負けません。

これは数字が示していることなので事実です。地域の方々も承知していることです。このような評価を頂いている三郷北高校の生徒であることを「自覚」し、三郷北高校の生徒であることに「誇り」を持ってください。

２つ目は、より高い次元で勉強と部活動を両立するとともに、自己管理能力を高めてください。自己管理能力とは、目標達成に向けて自分自身が何をどう行っていくかという能力です。目標を高く設定し、高い次元での勉強と部活動の両立が自己管理能力を高めることになります。高い目標を設定してください。

３つ目は、一生の友だちは高校時代に決まると言われます。人との出会いを大切にしてください。今日から新しい友だちや先輩、先生方との出会いがあります。様々な人との出会いは、自らを成長させ、人生を豊かなものとしてくれます。友だちをたくさん作り、良好な人間関係を築いてください。

四つ目は、将来の方向性が定まらないと進路指導はスタートしません。この一年間で「将来、どのように生きていくか、どのように社会に貢献していくか」を考えてください。

保護者の皆様、お子様のご入学にあたり、改めてお祝いの言葉を申し上げます。「本日は誠におめでとうございます」。真新しい制服に身を包んだ我が子をご覧になり、感慨深い思いがあったと思います。

私たち教職員一同、愛情と時には厳しさを持って、お子様の成長に尽くしてまいります。しかしながら、ご家庭の協力なくしてお子様の成長はありません。時には悩む姿を目にすることもあると思いますが、温かく見守っていただければと思います。

結びに、皆さんにとって、三郷北高校での３年間が充実した日々となることを祈念し、式辞といたします。

令和５年４月１０日

埼玉県立三郷北高等学校長　石井　和男